

おまつりごっこ

6月から おまつりごっこに向けて、製作をしてきた子ども達。7月には、何度もおまつりごっこに取り組んでいました。



ねらい。子どもが作った作品で、おまつりごっこを楽しむ。

異年齢児と関わり、親しみを育つ。

お店、開店!!

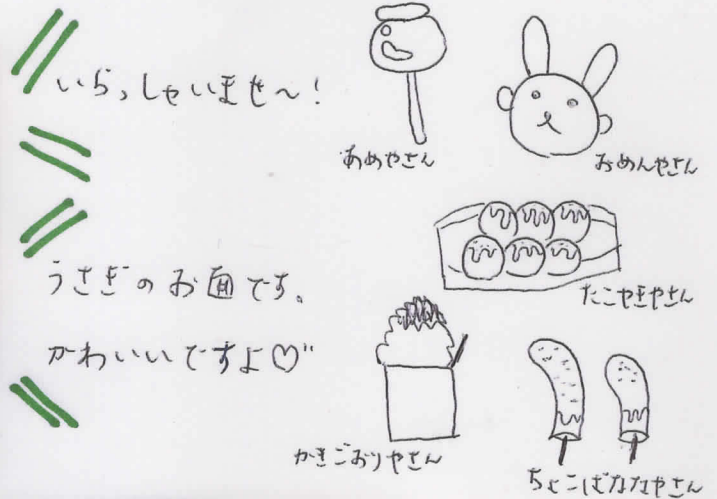
他クラスのお友達もお客さんとして来てくれました。

↑
おまつりごっこを始める前に、「どこでおまつりごっこをする?」「レジはどのお店が使う?」「お金はどうしよう?」など、子ども達と保育者が話し合って決めました。



これは何のお面ですか?

おめんやさん



小さなお客さんには、分かりやすいように、優しく声をかける姿もありました。

たこやき
ください



たこやきやさん

はい、お待たせください。

熱いので
気を付けてね。

あめちゃんやさん

おまつりです
どうぞ!



ありがとう。

お店屋さんになりきって、お客さんに声をかける 青組の子ども達。やりとりを楽しみ、自分の考えや気持ちを身振りや言葉で伝えようとしていました。

ドキドキ♡

これください！

ちょこばなな
やさん

＜お店屋さんとお客さん を交代＞



藤組さんがお店屋さんになり、青組さんがお客さんをしました。いつもお店屋さんだったので、お客さんをするのが新鮮で、とても喜んでいました。何度もお店に行き、買って食べたり、お面をつけて遊んだりすることを楽しんでいました。

かきごみりやさん

ぶとう味のかきごみりください！ どうぞ～！



おいしいな～♡

おまつりごっこの後、手作り花火をみんなに見てもらいました。クラスのみんなですること、一体感を感じることができました。



日頃の製作を発表する様子。今まで恥ずかしくて人前で発表することができなかったお友達も、このプロジェクト保育を通して、発表しようとする姿が見られました。

今回のプロジェクトを通して...

友達と一緒に考えたり、試したりする中で、子ども同士で役割を分担し、協力し合う姿がありました。その中でも、友達への思いやりが芽生え、気持ちを伝えようとしている姿もたくさん見られました。そして、おまつりごっこという取り組みを、みんなですることができました。

